

工事名称            令和 7 年度   藤枝中学校トイレ洋式化等改修工事

工事場所            藤枝市   音羽町一丁目   地内

設計年月日        令和7年4月1日

工 事 概 要

建設工事名 令和7年度 藤枝中学校トイレ洋式化等改修工事

建設工事場所 藤枝市 音羽町一丁目 地内

工 期 令和7年9月30日まで  
(改修工期予定) 令和7年7月20日から令和7年8月25日まで  
※学校運営に支障のないものを除き、原則、夏季休業中に完成させること

工 事 概 要 藤枝中学校のトイレ洋式化等に伴う改修工事

工 事 仕 様 特記仕様による

※工事内訳明細書に記載されている数量は参考数量である

---

( 工事価格 ) \_\_\_\_\_

( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

工事費内訳

名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費				
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

工事種別内訳

[illegible]

直接工事費 種目別内訳

[illegible]

直接工事費 科目別内訳

[illegible]

直接工事費 科目別内訳

[illegible]



直接工事費 科目別内訳

## 機械設備工事

[illegible]

直接工事費 細目別内訳

建築工事		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
墨出し(内部改修)		93.2	m <sup>2</sup>			
養生(内部改修)		93.2	m <sup>2</sup>			
養生(内部改修)	搬出入路部分	132	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け (内部改修)		93.2	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け (内部改修)	搬出入路部分	132	m <sup>2</sup>			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	ステージ足場 階高9.0m 掛払い手間, 基本料, 賃料, 運搬費共	6.5	m <sup>2</sup>			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	ステージ足場 階高5.4m 掛払い手間, 基本料, 賃料, 運搬費共	6.5	m <sup>2</sup>			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	ステージ足場 階高4.5m ステージ追加 H0.9m 掛払い手間, 基本料, 賃料, 運搬費共	13	m <sup>2</sup>			
内部仕上足場 (解体)	ステージ足場 天井材解体用 掛払い手間, 基本料, 賃料, 運搬費共	88.3	m <sup>2</sup>			
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場	88.3	m <sup>2</sup>			
ネット状養生シート張り	防災Ⅱ類 掛払い手間, 基本料, 賃料, 運搬費共	147	m <sup>2</sup>			
法定福利費	上記細目に含む					
計						

直接工事費 細目別内訳

建築工事		鉄筋・コンクリート・型枠				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
<鉄筋>						
異形棒鋼	SD295A D10	54.9	kg			
異形棒鋼	SD295A D13	111	kg			
スクラップ 控除		5	kg			
鉄筋加工組立費		1	式			
鉄筋運搬費		1	式			
法定福利費	上記細目に含む					
小計						
<コンクリート>						
普通コンクリート	JIS A5308 呼び強度21 S18 粗骨材20(25) 地区 220	1.7	m <sup>3</sup>			
コンクリート打設手間	ポンプ 打設 基本料共	1	式			
法定福利費	上記細目に含む					
小計						
<型枠>						
型枠	運搬費共	11.3	m <sup>2</sup>			
法定福利費	上記細目に含む					
小計						
計						

直接工事費 細目別内訳

建築工事 木工						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
乾式二重床	低床用鋼製束H=61@455 パーテイクホルト®厚20 防振ゴム 万協フロー-WP50/80同等品	81.7	m <sup>2</sup>			
床下地合板張り	構造用合板 1級 12×910×1820	81.7	m <sup>2</sup>			
床点検口	屋内用 一般型貼物用 アルミ製枠 アルミ目地 鍵有 800角	1	か所			
サッシ下額縁	集成材 杉桧一等 厚20 3200×80	3	本			
ライニング天板	集成材 杉桧一等 厚20 2300×120	1	か所			
ライニング天板	集成材 杉桧一等 厚20 3000×300	2	か所			
ライニング天板	集成材 杉桧一等 厚20 710×300	2	か所			
壁見切り枠	桧上小 T型 25×120+20×50 L2400	3	本			
木製見切縁	既存点検口部等 集成材 杉桧 1等 15×30	13.5	m			
掃除具掛け	木製35×75 L=600×2段 ステンレスフック各3個付き	6	か所			
建具木枠	桧集成 t 20 750x1900x110	6	か所			
法定福利費	上記細目に含む					
計						

直接工事費 細目別内訳

[illegible]

[illegible]

直接工事費 細目別内訳

建築工事 建具						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
<鋼製建具>						
1F 女子トイレ アルミハネ取付	換気扇設置用 厚3 w585×h775 既存ｶﾞﾗｽ撤去	1	ｶ所			
2. 3F 女子トイレ アルミハネ取付	換気扇設置用 厚3 w585×h775 既存ｶﾞﾗｽ撤去	2	ｶ所			
アルミ製建具 取付調整費	運搬費共	1	式			
法定福利費	上記細目に含む					
小計						
<トイレブース>						
TB-1 トイレブース (常開)	4485+1000×3 ×H2,000 見込40 メラミン化粧板 アルミﾄﾞｱｰﾙｴｯｼﾞ メラミン棚板 H1800共	1	ｶ所			
TB-2 トイレブース (常開)	1365+1000 ×H2,000 見込40 メラミン化粧板 アルミﾄﾞｱｰﾙｴｯｼﾞ メラミン棚板 H1800共	1	ｶ所			
TB-3 目隠ハネ	790 ×H2,000 見込40 メラミン化粧板 アルミ柱40角 H2340	1	ｶ所			
TB-4 掃除具入 (常閉)	780 ×H2,000 見込40 メラミン化粧板 アルミﾄﾞｱｰﾙｴｯｼﾞ	1	ｶ所			
TB-5 トイレブース(常開) 掃除具入(常閉)	6520+1000×4×H2,000 見込40 メラミン化粧板 アルミﾄﾞｱｰﾙｴｯｼﾞ メラミン棚板 H1800共	2	ｶ所			
TB-6 トイレブース(常開) 掃除具入(常閉)	3590+890×2×H2,000 見込40 メラミン化粧板 アルミﾄﾞｱｰﾙｴｯｼﾞ メラミン棚板 H1800共	2	ｶ所			
TB-7 目隠パネル	3590+890×2×H2,000 見込40 メラミン化粧板 アルミ柱角40×H2340	2	ｶ所			
トイレブース 取付調整費	運搬費共	1	式			
LSD-1 鋼製ハコ-引戸	900×H1,900 見込36 ポリ合板ﾌﾗｯｼｭ 下部SUS板貼り 型ｶﾞﾗｽ・建具金物・建具枠共	1	ｶ所			
鋼製建具 取付調整費	運搬費共	1	式			
法定福利費	上記細目に含む					
小計						
<木製建具>						

直接工事費 細目別内訳

[illegible]



直接工事費 細目別内訳

建築工事 塗装						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S O P 塗り (糸幅300mm以下)	木部 新規面 工程B種 素地A種	44	m			
E P - G 塗り	ボート面 新規面 工程B種(一般) 素地B種	19.7	m <sup>2</sup>			
E P - G 塗り	モルタル面 新規面 工程B種(一般) 素地B種	5.6	m <sup>2</sup>			
C L 塗り (糸幅300mm以下)	WD横手 額縁 木部 工程B種 素地B種	10	m			
O S 塗り (糸幅300mm以下)	ラインク部 木部 新規面 工程A種 素地A種	10	m			
U C 塗り	木部 新規面 工程A種 素地A種	44.4	m <sup>2</sup>			
S O P 塗り 改修仕様	鋼製建具面 既設面 工程B種 下地調整RB種	0.8	m <sup>2</sup>			
S O P 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	スチール 既設面 工程B種 下地調整RB種	15.9	m			
E P - G 塗り 改修仕様	モルタル面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	19.7	m <sup>2</sup>			
E P - G 塗り 改修仕様	モルタル面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	22.5	m <sup>2</sup>			
E P - G 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	3.5	m			
法定福利費	上記細目に含む					
計						

直接工事費 細目別内訳

建築工事		内装				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ビニル床シート	厚さ2.0 熱溶接工法 ポリシールポリウレタン同等品	87.3	m <sup>2</sup>			
壁マリン不燃化粧板 接着張り (既設面)	厚3.0 目地・取合シーリング幅3共 アイカ セラール オンタイル工法同等品	79.7	m <sup>2</sup>			
壁マリン不燃化粧板 接着張り (新規面)	厚3.0 目地・取合シーリング幅3共 アイカ セラール 同等品	148	m <sup>2</sup>			
壁アルミコーナー	巾頭	73.5	m			
防汚陶板	厚6 奥行600 面取りタイプ TOTOPAYトモセラプロPPU同等品 5.0m <sup>2</sup>	1	式			
床モルタル面 ケレン	シート張り面	10.6	m <sup>2</sup>			
ビニル幅木	高さ100	113	m			
壁下地 シーリング せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃	9.1	m <sup>2</sup>			
壁 強化せっこう ボード張り (GB-F)	厚12.5+12.5 二重張り 鋼製下地 継目処理	129	m <sup>2</sup>			
壁 グラスウール断熱材	24kg/m3 厚さ100	63.4	m <sup>2</sup>			
天井 化粧 せっこうボード 張り (GB-D)	厚 9.5 準不燃 突付け	88.3	m <sup>2</sup>			
天井廻縁	塩化ビニル製	126	m			
マリン化粧板 シーリング	変成シリコン系 (MS-2) 3mm	589	m			
法定福利費	上記細目に含む					
計						

[illegible]

直接工事費 細目別内訳

建築物 建築工事 とりこわし						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
床カッター入れ	モルタル+土間コンクリート面 和便器周囲	85.5	m			
床コンクリート 撤去	RC造 モルタル・タイル共 集積共	1.7	m <sup>3</sup>			
壁カッター入れ	タイル+コンクリート面	15	m			
壁コンクリート 撤去	RC造 モルタル・タイル共 集積共	4.6	m <sup>3</sup>			
壁コンクリートフック 撤去	ライニング部 モルタル・タイル共 集積共	0.8	m <sup>3</sup>			
壁タイル撤去	下地モルタル共 集積共	13.7	m <sup>2</sup>			
手洗い流し 撤去	RC造・CB造 人造石研ぎ出し w2150×d460×h1,000 集積共	3	か所			
ビニル床シート撤去	集積共	13.7	m <sup>2</sup>			
上框 撤去	SUS製 L=1,350 集積共	3	か所			
軽量鉄骨天井下地 C形鋼 Mバー撤去	集積共 吊ボルト存置	56.7	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨天井下地 Mバー撤去	集積共 野縁・吊ボルト存置	28.4	m <sup>2</sup>			
トイレブース 撤去	合板フラッシュ 見込40 集積共	86.1	m <sup>2</sup>			
掃除具掛け 撤去	木製 45×45×L=730 集積共	3	か所			
天井ハーフライトボード 撤去	厚6 石綿含有 集積共	85.1	m <sup>2</sup>			
積込・運搬		1	式			別紙 00-0002
処分		1	式			別紙 00-0003
法定福利費	上記細目に含む					
計						

直接工事費 細目別内訳

電気設備工事		電灯設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
600Vボリエチレン絶縁 耐燃性ボリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF	1. 6mm- 2C ビット・天井	131	m			
600Vボリエチレン絶縁 耐燃性ボリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF	1. 6mm- 3C ビット・天井	28. 5	m			
600Vボリエチレン絶縁 耐燃性ボリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF	1. 6mm- 3C 管内	1	m			
1種金属線び(MM1)	A型(25. 4mm)	1	m			
1種金属線び(MM1) 附属品	A型(25. 4mm) コーナボックス	1	個			
1種金属線び(MM1) 附属品	A型(25. 4mm) 1個用スイッチボックス	1	個			
フラッシュプレート (金属製)	角型 フランク	3	個			
熱線センサ付自動 スイッチ	親機(3A)	10	個			
熱線センサ付自動 スイッチ	子機	6	個			
熱線センサ付自動 スイッチ	子機(換気扇連動)	6	個			
照明制御装置 (切替操作スイッチ)	1 回路用 カートプレート共	5	個			
照明制御装置 (切替操作スイッチ)	2 回路用 カートプレート共	5	個			
合成樹脂製 アウトレットボックス(カバー 付)	中四角 深型 D54	3	個			
照明器具	A LSS9-4-30	17	個			
照明器具	B LSS9-2-15	3	個			
スポット形感知器	定温式 特種 防水	1	個			
法定福利費	上記細目に含む					
計						

直接工事費 細目別内訳

[illegible]

直接工事費 細目別内訳

[illegible]

直接工事費 細目別内訳

[illegible]



直接工事費 細目別内訳

機械設備工事		換気設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
送風機 EF-1-1	ストレートシロッコファン 470m3/h×100Pa	1	台			
送風機 EF-1-2	ストレートシロッコファン 300m3/h×100Pa	1	台			
送風機 EF-2-1	ストレートシロッコファン 470m3/h×100Pa	1	台			
送風機 EF-2-2	ストレートシロッコファン 430m3/h×100Pa	1	台			
送風機 EF-3-1	ストレートシロッコファン 470m3/h×100Pa	1	台			
送風機 EF-3-2	ストレートシロッコファン 430m3/h×100Pa	1	台			
共板フランジ 工法タクト	インサート無 0.5mm(～450mm)	2	m <sup>2</sup>			
スパイラルタクト (低圧タクト)	インサート無 150mm	5	m			
スパイラルタクト (低圧タクト)	インサート無 200mm	24	m			
ユニバーサル形吹出口	HS 150 150	1	個			
ユニバーサル形吹出口	HS 200 200	1	個			
ユニバーサル形吹出口	HS 250 250	5	個			
丸形 風量調節 タクトンパー	200φ	6	個			
ベントキャップ	深型、SUS製 200φ	6	個			
風量測定口		6	個			
たわみ継手		1	式			別紙 00-0006
制気口ボックス類		1	式			別紙 00-0007
保温工事		1	式			別紙 00-0008
穴あけ補修費		1	式			別紙 00-0009
法定福利費	上記細目に含む					

直接工事費 細目別内訳

[illegible]

直接工事費 細目別内訳

機械設備工事		衛生器具設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
腰掛式タンク密閉式 防露便器	コンパクト便器 手洗無防露式ロータンク(ふた固定有) 温水洗浄便座(蓋なし)、紙巻器	17	組			
壁掛小形ストール 小便器	小便器自動フラッシュバルブ(乾電池式)	11	組			
コンパクト手洗器	自動水栓(発電式) Pトラップ、壁給水	1	組			
カウンター式洗面器 1連セット	自動水栓(発電式)、Pトラップ、壁給水 奥行500mmカウンター、L=1400 ブラケット形	1	組			
カウンター式洗面器 2連セット	自動水栓(発電式)、Pトラップ、壁給水 奥行500mmカウンター、L=1450 ブラケット形	1	組			
カウンター式洗面器 2連セット	自動水栓(発電式)、Pトラップ、壁給水 奥行500mmカウンター、L=1700 ブラケット形	4	組			
バック付掃除用流し	共栓無し、Sトラップ、20mm横水栓 給水ホース式、バックハンカ	5	組			
L型手すり	樹脂被覆タイプ	7	個			
はね上げ手すり	樹脂被覆タイプ	1	個			
小便器用手すり	樹脂被覆タイプ	3	個			
化粧鏡	350×450(耐食鏡)	11	枚			
法定福利費	上記細目に含む					
計						

[illegible]

直接工事費 細目別内訳

機械設備工事		排水設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
<雑排水管>						
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)改修	機械室・便所 40A	15	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)改修	機械室・便所 65A	16	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管 (VP)改修	機械室・便所 40A	4	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管 (VP)改修	機械室・便所 50A	10	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管 (VP)改修	機械室・便所 65A	3	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管 (VP)改修	機械室・便所 75A	12	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管 (VP)改修	機械室・便所 100A	5	m			
<污水管>						
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)改修	機械室・便所 50A	18	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)改修	機械室・便所 75A	24	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)改修	機械室・便所 100A	6	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管 (VP)改修	機械室・便所 50A	2	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管 (VP)改修	機械室・便所 75A	15	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管 (VP)改修	機械室・便所 100A	21	m			
<通気管>						
通気・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)改修	機械室・便所 40A	2	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)改修	機械室・便所 50A	27	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)改修	機械室・便所 75A	2	m			
床上掃除口 (非防水形)	COA 50A	2	個			

直接工事費 細目別内訳

[illegible]

直接工事費 細目別内訳

機械設備工事			撤去工事			
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
<衛生設備撤去>						
和風便器撤去	再使用しない	21	組			
洋風便器撤去	再使用しない	3	組			
横水栓撤去	再使用しない	9	個			
掃除用流し撤去	再使用しない	3	組			
化粧鏡撤去	再使用しない	3	枚			
法定福利費	上記細目に含む					
小計						
<給水設備撤去>						
給水・塩ビライニング鋼管(SGP-VB)撤去	ねじ接合 機械室・便所 20A	20	m			
給水・塩ビライニング鋼管(SGP-VB)撤去	ねじ接合 機械室・便所 25A	46	m			
給水・塩ビライニング鋼管(SGP-VB)撤去	ねじ接合 機械室・便所 32A	6	m			
給水・塩ビライニング鋼管(SGP-VB)撤去	ねじ接合 機械室・便所 40A	9	m			
給水・塩ビライニング鋼管(SGP-VB)撤去	ねじ接合 機械室・便所 50A	14	m			
給水管保温撤去		1	式			別紙 00-0013
給水管切断費		1	式			別紙 00-0014
給水管穴埋		1	式			別紙 00-0015
法定福利費	上記細目に含む					
小計						
<排水管撤去>						

直接工事費 細目別内訳

機械設備工事			撤去工事			
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
<雑排水管撤去>						
排水・水道用 亜鉛めっき鋼管撤去	ねじ接合 機械室・便所 50A	16	m			
排水・水道用 亜鉛めっき鋼管撤去	ねじ接合 機械室・便所 65A	24	m			
排水・水道用 亜鉛めっき鋼管撤去	ねじ接合 機械室・便所 80A	5	m			
<污水管撤去>						
排水・铸铁管 (差込み形RJ管)撤去	機械室・便所 75A	10	m			
排水・铸铁管 (差込み形RJ管)撤去	機械室・便所 100A	36	m			
排水・鉛管撤去	機械室・便所 80A	24	m			
<通気管撤去>						
通気・水道用 亜鉛めっき鋼管撤去	ねじ接合 機械室・便所 50A	7	m			
通気・水道用 亜鉛めっき鋼管撤去	ねじ接合 機械室・便所 65A	27	m			
通気・水道用 亜鉛めっき鋼管撤去	ねじ接合 機械室・便所 80A	1	m			
床上掃除口 (防水形)撤去	COB 80A 再使用しない	3	個			
床上掃除口 (防水形)撤去	COB 100A 再使用しない	9	個			
床排水トラップ <sup>※</sup> (防水形)撤去	T 5B 50A 再使用しない	6	個			
排水管保温撤去		1	式			別紙 00-0016
排水管切断費		1	式			別紙 00-0017
排水管穴埋		1	式			別紙 00-0018
法定福利費	上記細目に含む					
小計						



直接工事費 細目別内訳

[illegible]

直接工事費 細目別内訳

[illegible]

[illegible]

直接工事費 別紙明細

建築物工事 とりこわし						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
積込・運搬		1	式			別紙 00-0002
コンクリート類 運搬		8.4	m3			
金属類 運搬		0.4	m3			
仕上材類 運搬		3.6	m3			
ケイカル板 運搬	石綿含有	1	m3			
計						
処分		1	式			別紙 00-0003
コンクリート類 処分		8.4	m3			
金属類 処分		0.4	m3			
仕上材類 処分		3.6	m3			
ケイカル板 処分	石綿含有	1	m3			
計						

直接工事費 別紙明細

[illegible]

[illegible]

直接工事費 別紙明細

機械設備工事		換気設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
たわみ継手		1	式			別紙 00-0006
ダクト用たわみ継手		8	m			
計						
制気口ボックス類		1	式			別紙 00-0007
ボックス	インサート無 0.5mm (～450mm)	7	m <sup>2</sup>			
計						
保温工事		1	式			別紙 00-0008
スパイラルダクト保温 (32K)	グラスウール 屋内隠ぺい,ダクトシャフト内 アルミガラスクロス 150mm 保温厚25	1	m			
スパイラルダクト保温 (32K)	グラスウール 屋内隠ぺい,ダクトシャフト内 アルミガラスクロス 200mm 保温厚25	6	m			
計						
穴あけ補修費		1	式			別紙 00-0009
機械はつり(ダクト ハットカッターによる 配管用貫通口)	100～150mm 250mm	6	か所			
計						

直接工事費 別紙明細

機械設備工事		給水設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
保温工事		1	式			別紙 00-0010
給水管 保温	ク°ラスウール 天井内,ハ°イブ°シャフト内 アルミカ°ラスクロス 20A	59	m			
給水管 保温	ク°ラスウール 天井内,ハ°イブ°シャフト内 アルミカ°ラスクロス 25A	11	m			
給水管 保温	ク°ラスウール 天井内,ハ°イブ°シャフト内 アルミカ°ラスクロス 32A	9	m			
給水管 保温	ク°ラスウール 天井内,ハ°イブ°シャフト内 アルミカ°ラスクロス 40A	3	m			
給水管 保温	ク°ラスウール 天井内,ハ°イブ°シャフト内 アルミカ°ラスクロス 50A	12	m			
給水管 保温	ク°ラスウール 暗渠内 着色アルミカ°ラスクロス 20A	9	m			
給水管 保温	ク°ラスウール 暗渠内 着色アルミカ°ラスクロス 25A	3	m			
給水管 保温	ク°ラスウール 暗渠内 着色アルミカ°ラスクロス 32A	2	m			
給水管 保温	ク°ラスウール 暗渠内 着色アルミカ°ラスクロス 40A	3	m			
計						
穴あけ補修費		1	式			別紙 00-0011
機械はつり(タ°イモ ント°カッターによる 配管用貫通口)	200mm程度 75mm	31	か所			
計						



直接工事費 別紙明細

[illegible]

直接工事費 別紙明細

機械設備工事			撤去工事			
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
給水管保温撤去		1	式			別紙 00-0013
給水管 保温撤去	ク°ラスウール 天井内,ハ°イブ°シャフト内 アルミカ°ラスクロス 20A 再使用しない	17	m			
給水管 保温撤去	ク°ラスウール 天井内,ハ°イブ°シャフト内 アルミカ°ラスクロス 25A 再使用しない	38	m			
給水管 保温撤去	ク°ラスウール 天井内,ハ°イブ°シャフト内 アルミカ°ラスクロス 32A 再使用しない	5	m			
給水管 保温撤去	ク°ラスウール 天井内,ハ°イブ°シャフト内 アルミカ°ラスクロス 40A 再使用しない	5	m			
給水管 保温撤去	ク°ラスウール 天井内,ハ°イブ°シャフト内 アルミカ°ラスクロス 50A 再使用しない	11	m			
給水管 保温撤去	ク°ラスウール 暗渠内 着色アルミカ°ラスクロス 20A 再使用しない	3	m			
給水管 保温撤去	ク°ラスウール 暗渠内 着色アルミカ°ラスクロス 25A 再使用しない	8	m			
給水管 保温撤去	ク°ラスウール 暗渠内 着色アルミカ°ラスクロス 32A 再使用しない	1	m			
給水管 保温撤去	ク°ラスウール 暗渠内 着色アルミカ°ラスクロス 40A 再使用しない	3	m			
給水管 保温撤去	ク°ラスウール 暗渠内 着色アルミカ°ラスクロス 50A 再使用しない	3	m			
計						
給水管切断費		1	式			別紙 00-0014
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ	配管切断 32A 保温有	2	か所			
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ	配管切断 50A 保温有	3	か所			
計						

直接工事費 別紙明細

機械設備工事			撤去工事			
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
給水管穴埋		1	式			別紙 00-0015
床貫通部補修	Φ75	30	か所			
計						
排水管保温撤去		1	式			別紙 00-0016
排水管 保温撤去	クラスワール 天井内,ハ イブ シャフト内 アルミガラスクロス 50A 再使用しない	11	m			
排水管 保温撤去	クラスワール 天井内,ハ イブ シャフト内 アルミガラスクロス 65A 再使用しない	15	m			
排水管 保温撤去	クラスワール 天井内,ハ イブ シャフト内 アルミガラスクロス 80A 再使用しない	27	m			
排水管 保温撤去	クラスワール 天井内,ハ イブ シャフト内 アルミガラスクロス 100A 再使用しない	23	m			
排水管 保温撤去	クラスワール 暗渠内 着色アルミガラスクロス 50A 再使用しない	4	m			
排水管 保温撤去	クラスワール 暗渠内 着色アルミガラスクロス 65A 再使用しない	9	m			
排水管 保温撤去	クラスワール 暗渠内 着色アルミガラスクロス 80A 再使用しない	12	m			
排水管 保温撤去	クラスワール 暗渠内 着色アルミガラスクロス 100A 再使用しない	12	m			
計						

直接工事費 別紙明細

機械設備工事			撤去工事			
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
排水管切断費		1	式			別紙 00-0017
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ	配管切断 65A 保温有	2	か所			
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ	配管切断 80A 保温有	3	か所			
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ	配管切断 100A 保温有	3	か所			
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ	配管切断 65A 保温無	2	か所			
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ	配管切断 80A 保温無	1	か所			
計						
排水管穴埋		1	式			別紙 00-0018
床貫通部補修	Φ75	12	か所			
床貫通部補修	Φ100	27	か所			
床貫通部補修	Φ125	9	か所			
計						

直接工事費 別紙明細

[illegible]

共通仮設費（積上分） 明細

[illegible]

## 交通誘導警備員の配置に関する特記仕様書(標準)

(交通誘導警備員の設計計上数量)

第1条 本工事の施工に関しては、設計書に計上した交通誘導警備員の人員を配置する。なお、配置場所については、監督員と協議するものとする。

(安全対策)

第2条 受注者は工事の施工に当たって交通整理を行うときは、公共工事の円滑な執行に資することを理解し、事故のないよう適正に工事を実施しなければならない。

2 受注者は、工事の施工にあたって、交通整理等を行うときは、配置人員、配置位置及び配置期間等について、監督員と協議を行わなければならない。また、計画に変更が生じた場合も同様とする。

3 受注者は、工事の施工にあたって交通整理等を行った場合、工事完了時に実施内容の判る写真、交通誘導警備員勤務実績表を併せて提出しなければならない。

(その他)

第3条 交通誘導警備員は、原則、警備業法（昭和47年法律第117号一部改正平成16年法律第50号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置するものとする。

2 現場代理人は、交通誘導警備員について、住民等から意見があった場合は、速やかに監督員へ報告し、協議を行うものとする。

3 現場代理人は、交通誘導警備員の点呼を取り、交通誘導警備員の健康状態や交通整理状況を常時把握し、以上のあるときは速やかに警備会社へ連絡し、交替を要請するとともに、交替要員が現場に到着するまでの間、交通誘導を要する現場作業は控えるものとする。

4 現場代理人は、施工区域内において、複数の他工事が重複する場合は、事故の未然防止及び安全対策に万全を期するとともに、他工事との調整等を図るなかで、交通誘導警備員を適正に配置するものとする。

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律に基づく差別的取扱いの  
禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項等に関する特記事項等

(受注者の責務)

- 1 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律第10条第1項の規定に基づく「藤枝市教育委員会における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」(平成28年3月30日藤枝市教育委員会教育長決定)第2条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第3条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。
- 2 本市作成の「視覚情報のためのカラーユニバーサルデザインガイドライン」(令和3年1月発行)を参考に、カラーユニバーサルデザインに配慮すること。

設計図書の照査に関する特記事項

- 1 静岡県土木工事共通仕様書 第1編共通編 第1章総則第1節総則 1-1-3「設計図書の照査等」の規定を準用する。



## 情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

### 第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

### 第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

### 第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

### 第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

## 遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

### （定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

### （適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

### （実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

#### （1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

#### （2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

### （実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

#### （1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

#### （2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

#### （3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

#### （4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。

## 工事写真の電子データに関する特記仕様書

### 第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

### 第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

### 第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

### 第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。

なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

### 第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。